

第71回徳島県中学校総合体育大会（県中体連、県教委、徳島新聞社主催）が8日開幕した。初日はJAバンク徳島スタジアムなど3会場で軟式野球と剣道の2競技が行われた。剣道男子は徳島が3年

# 県中学校 総合体育大会

第1日

連続9度目、女子是那賀川が6年連続17度目の栄冠に輝いた。軟式野球は1回戦7試合が行われ、阿南、大麻、三好などが2回戦に進んだ。第2日目の9日も軟式野球、剣道の2競技が行われる。

# 徳島 3年連続優勝

輝く優勝校

◇剣道

【男子】徳島 3年連続⑨

【女子】那賀川 6年連続⑰

（丸数字は優勝回数）

徳島30 那賀川  
○天空メロ 朝桐

剣道

# 女子是那賀川17度目V

○松本尊  
○岩原メロ 後藤一江口  
メロ 田上 松本喜

福本一  
大城 5-0 脇町 徳島文理4-0 山

【女子】団体1回戦 鳴教大付  
2-1 江原、海陽3-2 羽ノ浦、

那賀川 4-0 石井



男子決勝・徳島対那賀川 1本勝ちで優勝を決めた徳島の中堅岩原（左）＝鳴門ソイジョイ武道館（家段良匡撮影）

## 前評判通りの強さ発揮

徳島

昨年11月の県新人大会と5月の県選手権と同じ顔合わせとなった男子決勝は、徳島が前評判通りの強さを発揮して全国切符を手にした。

決勝の前に「最後まで勝ち切って終わろう」と声を掛け合った徳島は、先鋒（せんほう）の大空主将の2本勝ちで試合の流れをつかんだ。「相手の動きをよく見てじっくり攻めることができた」。

「副将戦の前で決めるつもりだった」と振り返るのは中堅の岩原。無理に攻めず、自分のペースを保って好機をうかがった。相手の隙を見逃さずメンを打ち込む思い通りの試合運びで勝利した。

徳島は3年連続の全中出場だが、過去2年はいずれも予選で敗退。上位進出を目標に掲げて練習を積んできた。3度目の出場がかなった大空主将は「気持ちを込め、基本に忠実に練習をしてきた。チーム一丸となって戦う」と決意を新たにしていた。

（須見千次郎）